

科目コード	N22304	科目名	看護過程論（基礎編）				
履修区分	必修	開講期	2年前期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	三島真由美						
授業の概要	看護の目的や機能を果たすための1つの方法として、看護過程がある。看護過程は、対象の情報を収集し、それを分析/解釈し健康上の問題を明確にし、問題を解決するための計画を立て実践し評価する過程をいう。基礎編では主に、看護過程の基礎的知識及び展開方法を学習する。看護過程の展開をとおして、科学的根拠に基づいて推論し実践につなげることが重要であることから、臨床判断に必要な基本的な考え方を学習する。さらに、看護の実践の証として看護記録が重要になるため、主な看護記録について学習する。						
DPとの関連	平和を希求する姿勢を身につける						
	豊かな教養を身につける						
	高い倫理観と責任感、他者との信頼関係を築き協働できる能力を身につける						
	看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける						
	地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を身につける						
	自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関わり貢献しようとする意欲を身につける						
	多様な保健医療福祉の場での多職種との連携で、看護専門職として機能を発揮する能力を身につける						
	社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける						
到達目標	異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成する能力を身につける						
	DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）=卒業までに身に付けるべき資質・能力						
履修上の注意事項	1.看護過程の目的が理解できる。 2.看護過程に必要な理論及び考え方が分かる。 3.看護過程の構成（情報収集・アセスメント、問題の明確化、計画の立案、実施、評価）に必要な知識を理解できる。 4.看護記録の必要性、種類、法的根拠が理解できる。						
	既習学習の知識を活用していきます。 1つずつが積み重なっていきます。欠席した場合には、補習を受けて次の学習に臨みます。 「自ら考える」という習慣を身につけて下さい。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	ガイダンス、看護の目的と看護過程、看護過程の段階【三島】					
	2	アセスメント(情報収集、解釈/分析)、問題の明確化(看護診断)、看護計画、実施、評価【三島】					
	3	臨床判断に必要な基本的考え方、看護記録の目的と重要性・種類【三島】					
	4	情報収集の枠組み(ゴードンの機能的健康パターンを用いて)、説明事例を用いた情報の解釈/分析、看護診断マニュアルの使い方【三島】					
	5	アセスメントと関連図の作成 栄養アセスメント【三島】		健康に関するアセスメント		人体の構造と機能、病因・病態学、臨床病態学などの既習学習が必要です。	
	6	アセスメントと関連図の作成 運動のアセスメント【三島】		排泄のアセスメント 活動-			
	7	アセスメントと関連図の作成 知覚のアセスメント【三島】		睡眠のアセスメント 認知-			
	8	アセスメントと関連図の作成 関係のアセスメント【三島】		自己知覚・自己概念のアセスメント 役割-			
	9	アセスメントと関連図の作成 コーピング-ストレス耐性のアセスメント 価値-信念のアセスメント【三島】		セクシュアリティ-生殖のアセスメント			
	10	看護計画の作成 【三島】					
	11	看護計画の作成 【三島】					
	12	主な看護記録の特徴と作成方法 【三島】					
	13	主な看護記録の特徴と作成方法 【三島】					
	14	事例を用いた看護過程 【三島】					
	15	事例を用いた看護過程 【三島】					
成績評価方法	1.提出物による評価（30点） 2.筆記試験：期末テスト（70%程度）						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	ゴードン看護診断マニュアル 看護アセスメント研究会訳（医学書院） 根拠がわかる症状別看護過程 改訂第4版 百瀬千尋・井澤晴美編集（南江堂）					978-4-260-10136-8 978-4-524-22537-8	
参考書							
教員からのメッセージ	看護過程は、人体の機能や病因・病態学、臨床病態学、臨床薬理などの知識とともに、対象の理解および援助方法の創造には「看護学概論」「生活援助技術」などの学習内容が重要になります。						
教員との連絡方法	質問・問い合わせなどは、C-ラーニングで行います。						
実務経験のある教員	看護専門学校において、22年間の看護基礎教育、看護教育行政に3年間、病棟師長を3年間経験し、教育・臨床・行政の視点から看護教育を経験している。						